日本の科学者　Vol. 57　No. 2　2022 年 2 月 1 日発行　付録

ＪＳＡ神奈川支部通信

No. 2 February 2022 日本科学者会議 神奈川支部 発行
事務局長：〒247-0008 横浜市栄区本郷台 2-12-2　後藤仁敏
☎・Fax：045-894-1052、携帯 090-7175-1911、E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp
年会費 10800 円、院生・読者 5400 円　郵便振替口座 0280-1-12774　日本科学者会議 神奈川支部

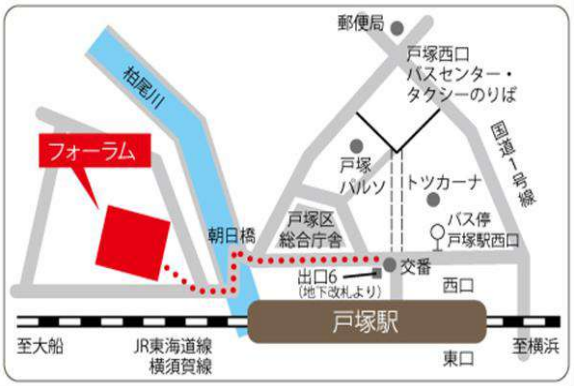
この号の見出し

◆ JSA神奈川支部研究交流会と話題提供者の募集について　JSA神奈川支部幹事会
◆ コロナ対策要望書への立憲・民権クラブ神奈川県議団からの回答　JSA 神奈川支部幹事会
◆ JSA57 期第 3 回全国幹事会の報告　全国幹事　後藤仁敏
◆ 9 条かながわ大集会 2021in 横浜「新しい政権のもとでの憲法 9 条」の報告　後藤仁敏
◆「粒子と波動の2重性」の謎を解く-水素原子はなぜ安定に存在するか　神奈川民間懇　北山宏之

「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどい

県民のつどい実行委員会

本支部も参加する実行委員会主催の 2.11 県民のつどいが以下の要領で開催されます。多くの皆様の参加を呼びかけます。



テーマ「安倍改憲」のよみがえりをどう阻止するか
講師　永山 茂樹さん（東海大学教授、憲法学）
日時　2 月 11 日（金・休）13時45分開会
会場　フォーラム（男女共同参画センター横浜）
交通　JR 戸塚駅（地下改札）または横浜市営地下鉄戸塚駅下車徒歩５分（地図参照）
オンラインでも参加可　https://youtu.be/We7FZhSOb_w（YouTube での視聴です。裏面に QR コードもあります）
資料代　500 円（高校生以下は無料）　オンライン参加の場合は、集会カンパにご協力ください。払込取扱票の「通信欄」か「払込人欄」に「2.11 集会」や「2.11」と記入してください。記号番号　00290-8-109817　名称　神奈川県労働組合総連合（カナガワケンロウドウクミアイソウレンゴウ）　店名（店番）　〇二九（ゼロニキュウ）店（029）横浜桜木　預金種類　当座　口座番号　0109817
オンライン参加者・つどい資料：右からダウンロードしてください→
https://onl.tw/WhUv83x
オンライン参加者・アンケート：ご協力ください（Google フォーム）→
https://onl.tw/xpb8187

講師プロフィール：永山茂樹（ながやましげき）さん
1960 年神奈川県横須賀市生まれ。一橋大学法学部、同大学院博士後期課程修了。東海大学法学部教授（憲法学）。
共著として、『現代憲法入門講義』（北樹出版、1997 年）、『判決ナビゲーション 憲法』（日本評論社、2014 年）、『法科大学院はどうなる　若手弁

護士の声』（花伝社、2016 年）、『国会を、取り戻そう！議会制民主主義の明日のために』（現代人文社、2018 年）、『公文書はだれのものか？』（現代人文社、2019 年）、『安倍改憲をあばく』（東方出版、2019 年）などがある。

感染防止のため、当日はマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。

主催　2.11 神奈川県民のつどい実行委員会

連絡先：神奈川労連（担当・住谷）　☎045-212-5855

実行委員会事務局（当日限り）　☎080-6709-4147

オンライン参加用QR

2．11神奈川県民の集い実行委員会構成団体：日本基督教団神奈川教区靖国天皇制問題委員会、日本キリスト教会横浜桐畑教会靖国神社問題委員会、在日大韓基督教会横浜教会、神奈川県教育運動連絡センター、神奈川私学教職員組合連合、横浜市立高等学校教職員組合、神奈川県立障害児学校教職員組合、神奈川県教職員連絡協議会、神奈川高校教職員連絡会、横浜教職員の会、川崎市教職員連絡会、日本科学者会議神奈川支部、神奈川労連、神奈川自治労連、自由法曹団神奈川支部、青法協神奈川支部、神奈川県歴史教育者協議会、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟神奈川県本部、神奈川平和遺族会、アジア・フォーラム横浜、県民連絡会、教科書・市民フォーラム

コロナ対策要望書への立憲民主党・民権クラブ神奈川県議団からのお礼

JSA神奈川支部幹事会

2021 年 12 月号に掲載した支部幹事会が昨年 11 月 5 日に神奈川県の県知事と県議会関係者、横浜・川崎・相模原市長と市議会関係者に提出した「新型コロナウイルスの第 6 波および各種感染症対策についての要望書」に対し、山中竹春横浜市長と、川崎市総務企画局危機管理室からの回答を前号に掲載しました。

12 月 6 日付で立憲民主党・民権クラブ神奈川県議団から右のような御礼状が届きましたので紹介します。

2021 年 12 月 6 日

日本科学者会議神奈川支部幹事会
代表幹事　荻原　伸次郎　殿

立憲民主党・民権クラブ神奈川県議会議員団
団長　作山ゆうすけ

要望書に係る御礼について

謹啓　初冬の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは私どもに「新型コロナウイルスの第６波および各種感染症の対策についての要望書」をご提出いただきましたこと、心より感謝いたします。

現在新型コロナウイルス感染症対策は県民一丸となって立ち向かうべき県政の最重要課題として、全力で取り組みを進めているところです。

今回いただいたご要望事項につきましても、しっかりと受け止めさせていただき、団員と共有の上、今後の議会活動の参考とさせていただきますので、引き続きのご指導のほど、よろしくお願い申し上げまして、御礼にかえさせていただきます。

謹白

JSA57 期第 3 回幹事会の報告

全国幹事　後藤仁敏

JSA57 期第 3 回幹事会が年の瀬も追い詰まった 12 月 28 日 10 時から 16 時まで、オンラインで開催されましたので報告します。

はじめに代表幹事の立石雅昭さん挨拶がありました。ついで、議長に代表幹事の大竹美登利さんと九州支部の小早川義尚さんが、書記に静岡支部の水谷洋一さんと広島支部の市川浩さんが選出されました。すると書記から、議事録の作成について提案があり、これまでの速記録のような詳しいものでなく、報告や発言の要旨をまとめたものにしたい、それでも自分の発言の記録を希望する者は、自らその発言を文書で提出していただきたい、とのことであった。以下、議長の誤解もあり、30 分以上にわたってこの問題について議論し、速記録ではなく要旨をまとめた議事録とすること

は認められたが、発言を文書で提出することは取りやめとし、議事録を見て自分の発言と異なる場合は、修正の意見を送ることになった。じつは、幹事会に先立って私は事務局から書記を依頼されたが、これまでかなり詳しい速記録のような議事録を作成していたことを知っていたので、「詳しいものではなく、報告と発言の要旨を主観的にまとめた議事なら作成可能だが、ボイスレコーダーの記録をもとに記録するようなことはとてもできません」と回答し、事務局から書記として不適当と判断され、お役御免となった。私と同じ意見が書記を引き受けた人からも出されたわけで、私は当然のことと感じた次第であった。

次に、総務財政部長の増澤誠一さんから、事務局報告があり、事務局日誌、会員数と会費納入状況、月別収支状況、事務局ニュース、第 2 回幹事会議事録について確認された。ついで、事務局長・事務局員選考 WG の小滝豊美さんから、河野仁研究企画部長は継続すること、「日本の科学者」編集委員長に長野八久さんの後任を選考することになり、編集委員長の仕事について長野さんから伺い、選考を進めると報告された。

ついで、研究機械部長の河野仁さんから研究委員会への助成の状況の報告があり、コロナ禍で活動が低下しているが、新しい研究委員会の提案募集は 22 年 3 月末までに提出してほしいとのことであった。また、研究会の設置要綱が提案され了解された。24 総学の準備状況について実行委員長の畑明郎さんから報告された。すべてオンライン開催で、11 月 19 日（土）に基調講演、19 日から 12 月 11 日（日）まで分科会を分散開催し、12 月 11 日に分科会交流会と全体集会を開催する。3 月に 1st サーキュラーを発行し、分科会募集を 5 月中旬締め切りで行う。6 月上旬に 2nd サーキュラーを出し、分科会発表者を募集する。8 月中旬にプログラムを確定し、9 月上旬に 3rd サーキュラーを出し、11 月上旬には予稿集を公表するとのことであった。

次いで、学術体制部長の多羅尾光徳さんから大学問題については「日本の科学者」2 月号に特集を組んだと報告された。社会的活動部長の三木敦朗さんから、2.11 集会などについて報告されたが、沖縄支部の亀山統一さんから 3.1 ビキニ集会、3.11 東北大震災、夏の原水禁科学者集会についての状況についての質問があり、来年早々に情報を集め、取り組んでゆくとのことになった。国際部長の小野一さんから、Bulletin の発行について報告された。情報通信室の西岡斉治さん（山形支部）が JSA のホームページをトレンドに合わせ、スマホ対応、ツイッターの試行をしていると報告した。「日本の科学者」編集委員長の長野八久さんから 56 巻の報告があり、女性が増えると内容が豊かになるので、執筆者の女性の割合が、55 巻は 19%、56 巻は 18%で、次は 20%以上を目指したいとのことであった。特集では 9 号について客員編集委員が担当した。私も今年 3 月号の特集を担当し、9 月号の「ひろば」も執筆した。今後、気候危機に関する原稿をとくに募集している。また、「市民と科学者をむすぶ月刊誌『日本の科学者』への論文投稿・定期購読のお勧め」というパンフを作成して宣伝している。

その後、昼食休憩となり、午後は 12 時 55 分から再開された。組織部長の山崎誠さんから組織活動について報告された。支部活動についてのアンケートには神奈川はじめ 38 支部から回答があり、支部の実態が明らかになった。会員拡大を計画的に取り組む必要がある。12 月 19 日の女性シンポには非会員も含めて 154 名もの参加があった、院生の葛谷泰慣さんから 8 月に修士論文発表会を開き、16 名が参加したとの報告もあった。

その後、審議事項に入り、会員名簿問題が取りあげられた。事務局からは、新しく会員名簿と会員情報リストの 2 つについて提案があった。会員名簿は現在支部がつかんでいる会員の氏名、住所、支部内での役職を事務局に提出していただき、代表幹事と事務局が閲覧できるようにする。会員情報リストは、各会員の希望に基づいて、氏名、メルアドまたは電話番号、専門分野、研究テーマ、勤務先、各項目の情報開示の可否を提供して、代表幹事、事務局員、各委員会の責任者が閲覧できるようにする。これについても、個人情報の保護を巡って議論があり、せっかくの提案も了解に至らず、今後さらに検討することになった。名簿については、神奈川支部は定期大会の決定として受け止め、全国の支部に先駆けて昨年初めに提出した。しかし、これは今回の事務局提案の会員情報リストに当たるもので、会員名簿ではない。支部の情報を事務局に提供することは組織なら当然のことという意見もあるが、これまでの JSA の活動からすれば、事務局には申し訳ないが、なかなか意見はまとまらないようだ。

ついで、学術会議会員任命を求めるアピールと署名運動について提案があり、検討した。これについては、アピール文と署名が了解され、JSA 幹事会が呼びかけ、全大教や日本私大教連と協力して、進めることになった。大学人など研究者を主体とするが、一般市民にも呼びかけてもよいことになった。

次いで、起草委員会の設置と辺野古問題の決議案と琉球列島の要塞化に反対する決議案について、

次回の幹事会で幹事会決議として発表することになった。
　ここで、立石代表幹事から、なぜ改憲問題を取り上げないのかとの意見が出されたので、私は、総選挙の結果、改憲勢力が衆議院の4分の3を占め、改憲大合唱が叫ばれており、来年の夏に向けて改憲阻止の運動を進める必要がある。九条科学者の会でも春に周年の集いを計画しており、ぜひ、参加していただきたい。また、来年夏の参議院選で改憲勢力を3分の2以下にするために、「憲法改悪を許さない全国署名」にもぜひ取り組んでほしい」と発言した。
　オンラインとはいえ、10時から16時過ぎまで、6時間近い会議への参加は、体力的にかなりきついものであった。また、幹事会に先立ってものすごい量の資料がメールで送られてきて、とても目を通すことができないことも悩みの種となっている。

9条かながわ大集会2021in横浜「新しい政権のもとでの憲法9条」の報告

後藤仁敏

　岸田首相、維新の松井代表、安倍元首相までが改憲大合唱をとなえるなか、11月29日の夜、関内ホール大ホールで、９条かながわ大集会 2021in 横浜「今こそ憲法でいのちと暮らしを守ろう！～新しい政権のもとでの憲法9条」を開催しました。参加者は320名でした。

図１ 「歌う９条の会バンド」の歌と演奏

「歌う9条の会バンド」と「横浜憲法劇」のパフォーマンス

　緞帳が上がると同時に、「歌う 9 条の会バンド」の歌と演奏がはじまりました。沖縄の思いを込めた「島人ぬ宝」、広島原爆投下の目標とされた橋からの想いを歌ったオリジナル曲「相生橋から」、憲法の価値、自由、平等、一人ひとりの尊厳を守る教育を求めるオリジナル曲「僕は僕のまま今日もいく」の3曲でした（図１）。

図２「横浜憲法劇」の歌とパフォーマンス

　続いて、横浜憲法劇のメンバーが、くろだゆうじさん作曲の「FOR PEACE LOVING PEAPLE OF THE WORLD～兵士の墓に花を咲かそう」、「僕は憲法」、「9条が生まれた日」、「がんばれ憲法！ファイト・ザ・憲法」の4曲を力いっぱい、歌い、演じました。

岡田尚さんの講演「ヨコハマから日本を変える－横浜市長選の実践から」

　岡田さん（九条かながわの会事務局代表、弁護士）は、約25分間、以下のように話しました（図3）。

図３ 岡田尚さん（本会事務局代表）の講演

　今年 8 月 22 日に横浜市長選で山中竹春さんが圧勝した要因は、何よりもカジノ誘致反対、コロナ対策、住民自治を取り戻すという大義を掲げた選挙であったからだ。
　2019年8月の林市長の裏切りのカジノ誘致表明に市民が怒り、19万3193筆（イクサは続く、イクゾ、イクゾ）もの署名を集めた住民投票を求める運動が起こった。自民党・公明党市議が臨時市議会で否決し、怒りが増した。
　市長選では過去最多の7人が立候補し、そのうち5人がカジノ反対を訴えた。私たちは、山中さ

んを応援するために、市民組織、立憲民主党推薦、共産党、社民党、緑の党、新社会党が自主支援、さらに横浜港ハーバーリゾート協会という、幅広い陣形をつくり、選挙をたたかった。

山中さんの圧勝は、まさかの菅義偉首相を退陣表明に追い込むことになった。しかし、今後菅氏は活動を横浜にしぼって、山中さんをいじめ、市長の座から引きずり下ろすことを狙うかもしれない。

その結果、岸田政権が誕生し、総選挙では自民党は私たちが期待したほどには議席を減らさず、逆に維新が躍進した結果、改憲勢力が衆議院で3分の2はおろか、4分の3近くを占めるに至った。

今後、改憲は国会の憲法審査会という私たちの手の届かないところで進められようとしている。改憲阻止のため、九条の会運動をさらに大きく広げよう。

斎藤美奈子さんの講演「放置国家にサヨナラを－安倍・菅政権のコロナ対策」

斎藤美奈子さんは60分間、以下のように講演されました（図4）。

図4　講演する斎藤美奈子さん

①安倍・菅政権のコロナ対策から見えたこと

安倍政権（2020年）のコロナ対策は、ほとんどアベノマスクしか印象残らず、緊急事態明けからはほとんど何もしないまま第2波が到来し、収拾できないまま退陣しました。

菅政権（20年10月～21年8月）は、GoToキャンペーンと五輪開催に執念をもやしました。官房長官時代のGoToトラベルで第2波を起こし、首相就任後のGoToへの東京参加で第3波が来て、GoToを停止したのは12月28日からでした。年明けからは2度目の緊急事態宣言を余儀なくされました。

聖火リレーの開始後に第4波が到来して3度目の緊急事態宣言、7月には4度目の緊急事態宣言を出しながらも、五輪は強行されました。その後、8月には新規陽性者が過去最多になりました。パラ五輪も含めた時期は、医療崩壊に至った第5波と重なります。民意は、GoToにも五輪開催にも反対でした。

8月末までに全国で200人超が自宅で死亡しました。人口1000人当たりの医師数は、OECDの平均が3.5人なのに、日本は2.4人で、もともと医師不足でした。公立病院も保健所も統廃合されてきたのです。80年代の中曽根行革以来の、新自由主義のツケがコロナ禍で爆発したのです。

新自由主義を進めた竹中平蔵氏は、「もともと経営が危なかった企業は救済しないということです。コロナ以前から経営がうまくいっていない企業は、今から融資を受けたところで立ち直ることは出来ません。淘汰されるべき企業を残しておくと、将来的に日本経済の弱体化につながります」と言っています。

これを私なりに解説すると、「もともと命が危なかった人は救済しないということです。コロナ以前から身体に基礎疾患のある人や高齢の人は、今から医療を受けたところで立ち直ることは出来ません。淘汰されるべき人を残しておくと、将来的に日本経済の弱体化につながります」ということです。こんなことを許してよいでしょうか。

私は、「ウィズコロナ東京かるた」にならって、次のようなかるたを作ってみました。【あ】アクセルもブレーキも踏めと言う総理、【い】イソジンでウイルス減ると知事は言い、【う】麗しきアベノマスクは今いずこ、【え】エビデンスじつはなかった一斉休校、【お】お父さん在宅ワークでウザがられ、です。（拍手）

②衆院選挙後、岸田政権の政策はどうなる？

岸田首相は、もともとはリベラル保守の「宏池会」出身ですが、現在は、「ヘタレ」で「ケチ」になっています。

今度の選挙で、与野党がともに経済政策を大きく転換させたことをご存知でしょうか。自民党（岸

田首相）も立憲民主党（枝野代表）も脱新自由主義。緊縮財政から積極財政に舵を切ったのです。田中首相が生きていたら「まるで昭和の復活だ」と言っているでしょう。

日本が 25 年もデフレから脱却できていないことに加え、コロナ禍で経済の落ち込みが決定的になったためとも考えられます。そうでなくても、新自由主義の緊縮財政を 25 年間続けてきたせいで、日本経済はボロボロなのです。各国の「成長率」ランキングでは、OECD 加盟国中で日本は断トツの最下位です（図 5）。賃金も、他国ではみな上がっているのに、日本だけが下がっているのです。

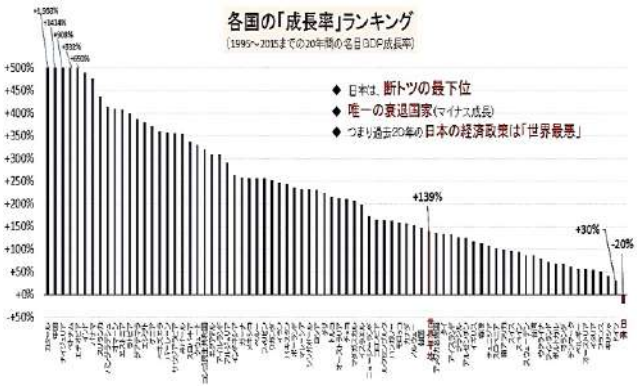


図 5　各国の「成長率」ランキング

財政の話となると必ず出てくるのが「国の借金は 1000 兆円超もある。このままでは国家財政が破綻する。将来の世代に借金のツケを回すのか」といった文言です。これは本当なのでしょうか。むしろ財政破綻論は「国民を救わない言い訳」にされてきたのではないでしょうか。実際には、借金（国債の発行）で国の財政が破綻することはあり得ません。国はお金をいくらでも造ることができるからです。

コロナ禍で米国のバイデン政権も日本より先に積極財政論に舵を切りました（共和党の妨害で苦戦してはいますが）。日本でも、新自由主義（緊縮財政）にしがみついている政党は維新だけです。とはいえ各党も一枚岩とはいえず、自民党にも立憲にも新自由主義者は大勢います。また岸田政権の経済政策は「脱新自由主義」の割には中途半端です。今後はまた緊縮財政に逆戻りし「コロナ増税」に踏み切る危険性もあります。今後の経済政策を注意深く見守る必要があります。

③岸田政権で改憲の動きは加速する？

戦争や大災害などの危機につけ込んで、人々が茫然自失している間に、不可能と思われた政策を実行すること「ショック・ドクトリン」といいます。

先の衆院選で与党は安定多数を確保し、岸田首相は任期中に改憲のめどをつけたいといっています。また、維新と国民民主も改憲に意欲を燃やしていることから、安倍政権下で達成できなかった改憲論議は今後、活性化する可能性があります。まさに火事場の改憲論、「コロナ・ショック・ドクトリン」です。

自民党は 2012 年に改憲草案を出していますが、2018 年、安倍政権下で、これに修正を加える形で 4 点の新改憲案を発表しました。ポイントは以下の 4 つです。

①　自衛隊を 9 条に明記、②緊急事態条項の導入、③参議院の合区解消、④教育環境の整備。

このうち、③の参議院の合区解消は、どうでもいい改憲案で、43 条とも矛盾し、無駄です。④の教育環境の整備は、現行 26 条で十分で。無視すべきです。

問題は、①の 9 条改憲で、9 条 1 項は現行のままで、2 項を削除し、以下に変更するとしています。「前条の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。」 9 条改憲は、軍事力に対する事実上の歯止めをなくし、1 項を無効にするのと同じ効果を持ちます。解釈改憲後に加えて自衛隊が明記されれば「国防軍」まであと一歩となり、断固阻止しなければなりません。

②の緊急事態条項（新設）は、9 条よりもこちらを優先ではないかとも思われます。「(1)大地震その他の異常かつ大規模な災害により、国会による法律の制定を待ついとまがないと認める特別の事情があるときは、内閣は、法律で定めるところにより、国民の生命、身体及び財産を保護するため、政令を制定することができる。(2)内閣は、前項の政令を制定したときは、法律で定めるとこ

ろにより、速やかに国会の承認を求めなければならない。」としています。

これが通ると国会審議を経ずに、法律に等しい「政令」を制定することができます。立法府の形骸化であり、ひいては立憲主義・民主主義国家の崩壊につながります。また、コロナ禍で「大規模な災害」に「大規模な感染症」を加える案が取り沙汰されています。災害対策は、現行法（災害対策基本法など）で対処可能です。万一強い感染対策が必要でも、現行憲法と特措法で十分です。断固阻止です。

図 6　各地九条の会からの発言

今こそ参照すべきは 25 条と 13 条です。25 条の生存権では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」とあります。

13 条の幸福追求権は、「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」です。

国は憲法に則って国民の生命と生活を守る義務があります。来年には参院選もあります。私たちの生命と生活を軽視してきた「放置国家」と決別するために、声をあげましょう。

各地九条の会からの発言

講演後、各地九条の会の皆さんが幟旗や横幕を持って登壇する前で、4 つの各地九条の会から、活動の紹介、総選挙や改憲阻止への想いなどについての発言がありました（図 6）。

たかつ九条の会の山本武彦さんは、会の活動の紹介とともに、高津区をふくむ神奈川 13 区での衆議院選挙で、立憲民主党の三村和也さんを応援したことを報告しました。

港南台 9 条の会の成田知子さんは、例会、ニュースの発行、駅頭スタンディングなどの会の活動とともに、根岸線沿線九条の会連絡会の集会も報告しました。

厚木市九条の会ネットワークの堤昭雄さんは、10 の九条の会が集まってネットワークをつくっている、12 月 1 日に九条の会世話人の清水雅彦さんを講師にした集会を開催することを紹介しました。

最後に、ふじさわ・九条の会の島田啓子さんは、安保違憲訴訟の公正裁判要請署名や学術会議会員任命拒否の撤回を求める神奈川県署名を集め、憲法改正ではなく県民の暮らしの支援や医療、福祉・介護従事者の応援こそ必要で国会を開いて命を守る政策を議論すべきと意見広告を出したことを報告しました。

主催者からの訴え

その後、再び横浜憲法劇メンバーによる「もっと平和に近づきたいから」の歌とパフォーマンスがあり、最後に、事務局長の私が主催者を代表して挨拶し、「総選挙の結果、改憲勢力が衆議院の 4 分の 3 近い議席を占め、岸田首相から、維新の松井代表、さらには安倍元首相までが改憲大合唱をとなえています。今こそ、九条の会はその真価を発揮し、憲法改悪を許さない運動を広めましょう。九条の会も参加する「憲法改悪を許さない全国署名にも取り組みましょう」と訴えました。

なお、本集会に対し、九条の会東京連絡会事務局長の島田修一さんと、前衆議院議員の畑野君枝さんから、連帯のメッセージをいただきました。本会のホームページに掲載しますので、ぜひお読みください。

最後に、本集会でご講演いただいた斎藤美奈子さん、素晴らしい歌とパフォーマンスを披露してくださった「歌う 9 条の会バンド」と「横浜憲法劇」の皆さん、発言いただいた 4 つの九条の会の皆さん、チラシやチケットの販売にご尽力くださった方々、ご参加くださったすべての皆様に厚くお礼を申しあげます。

「粒子と波動の２重性」の謎を解くー水素原子はなぜ安定に存在するのか

神奈川民間懇　北山宏之

１．はじめに

量子力学の再学習に取り組み始めた。並行して、県立川崎図書館で「アインシュタインの反乱と量子コンピュータ」（佐藤文隆　著　京都大学学術出版会、2009年2月発行）の著者とタイトルに惹かれて、熟読していると、ｐ262～264に「ウソを教えない工夫」の節で、以下のような興味深い内容に目が止まった。

原子や量子力学の題材で国民的「常識」の１つとされている「知識」に「原子は原子核の周りを電子が回っている」というのがある。著者はこの「ウソ」を教えることを止めようと提案したことがある。日本物理学会の物理教育に関する雑誌に「ウソを教えない工夫」をしようと呼びかけたのである。しかし残念ながら反応は１つもなかった。

大体、ハイゼンベルグが論文で述べたように、ありもしない軌道を考えないことにしたから量子力学に飛躍したのである。またアインシュタインが湯川に語ったように、量子力学では加速度を追放したから遠心力という概念はないのである。確かに専門家は原子内では軌道でなくエネルギー準位で考える。なのに何故か素人には「ウソ」を教えるのである。例えば水素原子の電子は基底状態では角運動量はゼロだから、（←これ自体もまさに量子力学的に説明されるべき内容！　北山記）「回転しない。」だから回転しているために電気力と遠心力が釣り合って原子が安定に存在する、というのはウソである。これこそ有限な作用量子の新たな効果によって原子は安定に保たれているのだ。「ウソは泥棒のはじまり」と言うからよほど深刻に考えた方がいい。

２.量子力学の歴史「佐藤文隆先生の量子論」BLUE BACKSより

量子力学とは、実験によるX線、放射線や電子の発見で拓かれたミクロの世界を説明するため、1900年のプランクの量子仮説をアインシュタインやボーアが発展させた前期量子論の段階を経て、（図1－2）、1925～1926年にハイゼンベルグ、シュレーディンガー、ディラックらにより完成された理論である。（図1－3）

1900年　プランク　黒体放射での量子仮説
1905年　アインシュタイン　光電効果、光子（フォトン）
1907年　アインシュタイン　比熱の量子論、音量子（フォノン）
1913年　ボーア　原子のエネルギー準位とスペクトル
1915年　ゾンマーフェルト　断熱不変量量子化、水素スペクトルの微細構造
1917年　アインシュタイン　放射確率A、B、誘導放出
1924年　ボーズ、アインシュタイン　ボーズ・アインシュタイン(BE)統計、BE凝縮
　　ド・ブローイ　物質波
1925年　パウリ　排他原理
1926年　フェルミ、ディラック　フェルミ・ディラック統計
1928年　ゾンマーフェルト　金属電子論

図１－２　前期量子論の進展

３.「粒子・波動」2重性

よく量子力学のエッセンスは「粒子と波動の2重性」であるといわれる。

アインシュタインの「光（電磁場の波動）も粒子だ」と、ド・ブロイの「電子（粒子）も波動だ」はともに、実験で明らかになった光や電子の粒子・波動の2重性という新しい姿である。ここでの「粒子」と「波動」とは古典物理で慣れ親しんでいるモデル概念である。だから2重性を持つことの実験的発見は単に「光や電子のミクロでの振る舞いは古典概念では理解できない」といっているだけである。ここでは「粒子」と「波動」というモデル概念と光や電子という現実の対象を別なものとして整理する方がよい。

前期量子論では、「作用」にプランク定数ｈの最小単位があることと、と図2－2の粒子・波動2重性の関係だけで、

第１章　量子力学とアインシュタイン

1924年　ボーア、クラマース、スレーター（BKS）アインシュタイン遷移確率の結合則考察
1925年　ハイゼンベルグ BKS結合則の力学、ボルン・ヨルダンの行列理論化
　　ディラック　非可換変数の交換関係
1926年　シュレーディンガー　シュレーディンガー波動方程式でボーアのエネルギー準位導出
　　ボルン　ψの確率解釈
　　ボルン、ハイゼンベルグ、ヨルダン　行列力学
　　ディラック　行列力学と波動力学の同等性
1927年　フォン・ノイマン、ランダウ　密度行列導入
　　ボーア、ハイゼンベルグ　相補性、不確定性原理
1928年　ハイゼンベルグ、パウリ　場の量子論
　　ディラック　相対論的電子場の理論
1930年　ディラック　『量子力学』出版
　　ハイゼンベルグ　『量子力学の物理的基礎』出版
1932年　フォン・ノイマン　『量子力学の数学的基礎』出版
1933年　ハイゼンベルグ（32年）、シュレーディンガー（33年）、ディラック（33年）量子力学でノーベル賞
1935年　アインシュタイン、ポドルスキー、ローゼン　EPR論文
　　シュレーディンガー　シュレーディンガーの猫論

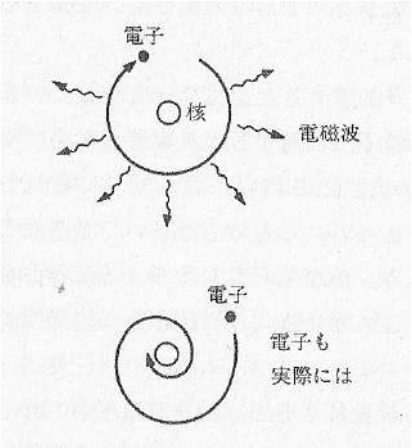
図１－３　量子力学の成立

原子の離散的なエネルギー準位などの多くの現象の説明に成功した。図2－2のようにｈがミクロな対象の粒子モデルと波動モデルを結びつけている。なぜ粒子が波動なのかは全くイメージできないが、この数式で結ばれる2重の性格を併せ持つものが自然に存在するのだから受け入れざるを得ない。それに対して粒子とか波動という「モデル」は人工の概念だ。

粒子		波動
運動量 p	$p=h/\lambda$	波長 λ
エネルギー E	$E=h\nu$	振動数 ν
個数 N	$N\sim A^2$	振幅 A

図2－2　粒子－波動の二重性　左側に粒子の概念、右側に波動の概念、中間に両者をつなぐ関係を示した（ここでの波動は「波動関数」の「波動」ではない）。

４．原子模型の困難性



５．電子の波動性　朝永振一郎　量子力学Ⅱ　みすず書房より

ド・ブロイは光量子の実在性を早くから信じ､粒子-波動の２重性の概念を電子さらには微視的実体すべてに拡張するという驚くべきアイデアを提唱した。

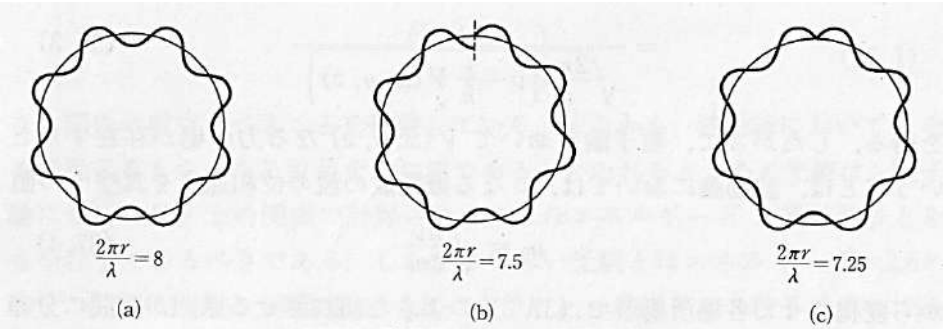


図 50　波動論における量子条件

円になって進行する波が安定に存在しうるには、その波長は（a）のように円周２πｒの整数分の１でなくてはならない。そうでないと、円に沿って１周したとき（b）のように波にくいちがいや（c）のように折れ曲りを生ずるから。

６．粒子・波動の２重性の主な解釈「素粒子論はなぜわかりにくいのか」　吉田伸夫　技術評論社より

あるものが、同時に粒子でも波動でもあるというのはあまりに奇妙であり、素直に受け入れない方が良い。物理学者の間でいまだに議論が続いており、決着はついていない。

① ボーア流の考え方：人間の認識能力には限界があり、光の実態を正しく把握することはできない。干渉や回折のような現象を理解するためには波動として、光電効果やコンプトン効果を分析するには粒子として扱う必要があるが、実際には、粒子でも波動でもない別の何かである。

② ド・ブロイ流の考え方：光子や電子のような素粒子の実体は粒子であり、その運動の仕方を波が規定している。

③ 本書(吉田）の考え方：素粒子の実体は波であり、波が粒子のように振る舞っている。
（場の量子論）

量子論の基礎を研究する物理学者の多くは、ボーアの考え方を受け継いでおり、実際に何が存在するのかを明確に記述せず、数式だけを提示するように努めている。しかしこれでは専門家以外には物理学の内容が全く伝わらないというのが、私(吉田)の立場である。

７．場の量子論　「光と物質のふしぎな理論」　私の量子電磁力学ファインマン　岩波新書より

光と電子に関する全ての現象のもととなる３つの基本作用：

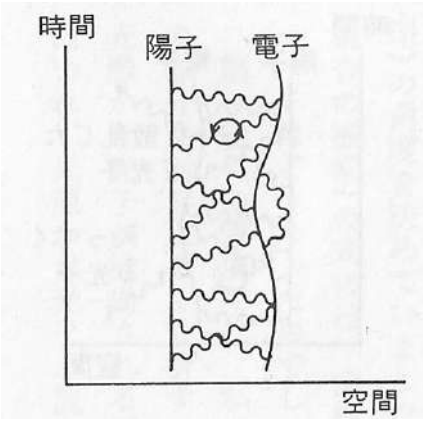
① 光子がある場所から他の場所へと移動する。

② 電子がある場所から他の場所へと移動する。

③ 電子が光子を吸収あるいは放出する。

陽子１個と電子１個が光子を交換し合って成り立っている水素原子。

電子は陽子との間で光子を交換することによって、原子核のまわりの一定距離内に引きつけられている。ここでは陽子は近似的に静止していると考えてよい。



補足：「量子論はなぜわかりにくいのか」　吉田伸夫　技術評論社　p.198より

「量子論を真に理解しようと思うならば、場の量子論を勉強する必要がある。場の量子論に触れずに量子論の不思議さについて語っている著作には、あまり信を置かない方が良いかもしれない。」

＝＝

行事案内

☆1月19日（水）18:30～　**1・19国会議員会館前行動**　場所：衆議院第２議員会館前を中心に　フィジカルディスタンスを確保しながらスタンディング　できるだけ各自のプラカード持参を　共催：戦争させない・９条壊すな！総がかり行動実行委員会、９条改憲NO！全国市民アクション

☆1月19日（水）18:30～　**講演会「消費税は廃止すべき大悪税　消費税減税・インボイス制度の撤回を求める運動の展望」**　会場：神商連会館４階＋オンライン　講師：湖東京至税理士（元静岡大学教授、不公平税制をただす会代表委員）　共催：消費税廃止神奈川県各界連絡会、3.13重税反対統一行動神奈川県実行委員会（045-314-5551）

☆1月20日（木）18:00～　**憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝**　場所：新宿駅西口 小田急百貨店前　共催：戦争させない・９条壊すな！総がかり行動実行委員会、９条改憲NO！全国市民アクション

☆1月21日（金）15:00～18:00　**日中友好協会横浜西南支部第7回中国歴史講座　後漢王朝末期・宦官・外戚の腐敗、黄巾の乱、乱世・英雄世に出る**　講師：菅野正則さん（中国研究家）　会場：戸塚地区センター2階B会議室（戸塚駅西口徒歩3分）　参加費500円　問合せ：080-5081-6522（大幡）

☆1月22日（土）13:30～16:00　**全10回研究会・マルクスの理論と現代　A日程（40歳までの若手研究会）　第5回グローバリゼーション**　会場：関東学院大学関内メディアセンター（神奈川新聞社屋8階、約20名）　参加費全10回通し参加者8000円、30歳未満は4000円　講師：渡辺憲正（関東学院大学名誉教授）　主催・申込先:NPO法人かながわ総研に電話かメールで　電話：045-662-9839、メール：npo-soken@blue.ocn.ne.jp

☆1月22日（土）19:00～21:00　**大学フォーラム第3回研究会「大学の公共性・多様性・自主性とガバナンス問題」**　zoomによるオンライン開催　下記urlからお入りください。bit.ly/3sYNmGN　どなたでも参加できます。内容：光本滋さん（北海道大学）「大学法人の　ガバナンス改革論と大学の公共性」、増田正人さん（法政大学）「私立学校法の改正問題とコロナ禍での私大の課題」　主催:大学の危機を乗り越え、明日を拓くフォーラム（uniforum7@gmail.com）

☆1月23日（日）10:00～12:00　**「憲法改悪を許さない全国署名」学習交流会**　会場：厚木市文化会館4階集会室A・B（小田急線本厚木駅徒歩13分）　第1部「改憲手続法と改憲問題」講師：福田護弁護士、第2部「どのように署名に取り組むか」、提案と討議　参加無料　zoomでの参加は18日までにatn9k@yahoo.co.jpに申込み。共催：9条改憲反対！市民アクション厚木・愛川・清川の会、厚木市九条の会ネットワーク　問合せ：046-228-4817（上野さん）

☆1月23日（日）13:00～　**第17回新社会党講演会　戦後76年、どう中国と向き合うか**　会場：かながわ労働プラザ第3会議室（JR・石川町駅下車5分）　講師：浅井基文さん（元外交官・政治学者）　資料代800円　主催：新社会党神奈川県本部　連絡先：吉田（090-2542-0413）

☆1月23日（日）13:00～15:00　**第34期新版『資本論』第1部講座ガイダンス　宮崎礼二さんんが語る新版『資本論』学習のすすめ**　会場：平和と労働会館4階会議室（JR・地下鉄桜木町駅徒歩3分）　参加費300円　講師：宮崎礼二さん（明海大学准教授）　主催・申込み：神奈川県労働者学習協会（045-201-4002）

☆1月23日（日）13:45～16:00　**とめよう改憲！学習講演会『改憲の危険性と今後の運動』**　会場：日本教育会館一ツ橋ホール　講演1：立憲主義の回復に向けた課題　講師：前川喜平さん（現代教育行政研究会代表）、講演2：コロナと緊急事態条項　講師：永井幸寿さん（日弁連災害復興支援委員）　主催：9条改憲NO!全国市民アクション、戦争させない・９条壊すな！総がかり行動実行委員会

☆1月27日（木）16:30～21:00 要予約　**たんぽぽ舎講演会講座番号717　二酸化炭素による地球温暖化説の非科学　講師:広瀬隆さん**　会場:東京学院ビル3階（JR水道橋駅西口の改札を斜め左に出て、正面の信号のある横断道路を渡り、居酒屋とパチンコ屋の間の道に入ると、左手にルノアールが見えます。ルノアールを左折して4軒目、50mほど）　参加費（資料代含む）：1000円（学生500円）　予約先（主催）：たんぽぽ舎（03-3238-9035）

☆1月27日（木）18:30～　**憲法を変えるな！～安保法制違憲訴訟の勝利を目指して**　zoom配信あり　会場：日本教育会館 一ツ橋ホール　会場参加希望 チケット（全席指定）800円　zoom参加 カンパ 500円 資料送付付き　下記をクリックしてチケットをご購入ください。会場参加については、当日券もご用意しますが、前もってご購入いただきますと、優先的にご案内します。zoom参加は必ず、下記をクリックして500円のカンパをお願いします。
https://anpoiken20220127.peatix.com/　プログラム：17:30 プレイベント（全国井戸端会議）全国の原告をzoomでつなぎます！　18:30 開演　雅楽「笙」の演奏とお話　鈴木治夫さん（笙職人、元東京藝術大学非常勤講師）、全国の訴訟について　福田護さん（弁護士）、講演　石川健治さん（東京大学法学部教授）、賛同署名協力のお願い　内山新吾さん（弁護士）、閉会挨拶　菱山南帆子さん（東京国賠訴訟原告）主催：安保法制違憲訴訟全国原告連絡会　電話での予約も受け付けています。石垣（埼玉）090-4373-0937／綱川（東京）080-5429-7400／山口（東京）080-4460-6969／金野（山梨）080-5499-0612

☆1月28日（金）17:00～19:00　**『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会**　会場：かながわ県民センター711号室、市民自治に関心のある方は是非お越し下さい。問合せ：Eメール kura335200@star.ocn.ne.jp　参加費300円

☆1月29日（土）9:30～12:00　**かながわ市民連絡会全体会**　会場：桜木町ぴおシティ6階青少年交流・支援スペース研修室（地下鉄桜木町駅の上）　問合せ：naito@muh.biglobe.ne.jp　（内藤繁）

☆1月29日（土）13:30～17:30　**スペースたんぽぽ講座番号716新ちょぼゼミシリーズ「オルタナティブな日本を目指して」（ちょぼちょぼ市民によるちょぼちょぼ市民のためのゼミナール）第70回日本の感染症対策と731部隊**　講師：加

藤哲郎さん（一橋大学名誉教授）。会場：スペースたんぽぽ（高橋セーフビル1階、JR水道橋駅西口徒歩5分）　参加費（資料代含む）800円（学生400円）　連絡先：03-3238-9035、Email:tanpopo3238@gmail.com

☆1月29日（土）14:00～16:00　**JCJオンライン講演会　ミャンマーの民主化回復のために－「2度の難民」となった私の体験**　講師：ソー・ティ・ナイン(Soe Tint Nain)さん　コメンテーター：竹内幸史さん（ジャーナリスト）　司会・進行:水野孝昭さん(神田外国語大学教授)　参加費500円　主催:日本ジャーナリスト会議(JCJ)　電話03-6272-9781（月水金の午後1時から6時まで）　メールoffice@jcj.sakura.ne.jp　ホームページ　http://www.jcj.sakura.ne.jp/ JCJ会員は参加費無料。onlinejcj20@gmail.com に別途メールで申し込んでください。

☆1月30日（日）13:30～　**2022年新春平和学校**　会場：横浜市従会館4階ホール（桜木町駅徒歩12分）　講演：中野晃一氏（上智大学教授）「総選挙後の日本と世界を展望する－2022年は憲法が花開く年に」　特別報告：政村修（神奈川自治労連書記長）「市民と野党の共闘と横浜市長選の勝利」　資料代1000円（大学生以下500円）　主催：神奈川平和委員会、原水爆禁止神奈川協議会　後援：県平和と国債友好団体連絡会

☆1月30日（日）13:30～15:30　**市民シンポジウム＆ヨコスカをよくする会第12回総会**　会場：産業貿易プラザ交流サロン（京急線汐入駅すぐ、芸術劇場のある建物の3階）　参加費無料　予約不要　第1部：市民シンポジウム　鈴木明さん（NPO法人子どもの夢サポートセンター理事長）の講演と参加者との話し合い　第2部：第12回総会　連絡先：横須賀市民法律事務所（046-827-2713）

☆1月30日（日）13:30～17:30　形式オンライン　**研究・利用のために「人の生命を作る」ことの倫理**　発題：澤井努（京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点・特定助教、生命倫理学）、建石真公子（法政大学法学部教授・憲法学）、香川知晶（山梨大学名誉教授・倫理学）、天笠啓祐（DNA問題研究会会員）、司会：島薗進（上智大学グリーフケア研究所所長、東京大学名誉教授・宗教学、死生学）　参加: 事前予約必須（予約受付期間は即日から1月27日まで）　予約方法:予約は名前(ふりがな付与)、連絡先(E-mail 必須)を明記の上、下記E-mail 先へ申し込みください。E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp 神野玲子　参加費無料。当日の案内：案内およびZoomURL を１月２７日頃メールにてお送りいたします。主催：ゲノム問題検討会議（ホームページhttps://www.gnomeke06.net/）、共催：DNA問題研究会、グループ生殖医療と差別

☆2月5日（土）10:30～11:25　テレビ朝日で放送　**第36回民教協スペシャル「ハマのドン”最後の闘い”－賭博は許さない」**　ナレーション：リリー・フランキー　企画：公益財団法人民間放送教育協会　制作著作：テレビ朝日

☆2月5日（土）13:00～16:00　**特別集中講座「パンデミックと731部隊」加藤哲郎さん（一橋大学名誉教授）第6回講座「生き残った感染症村・ワクチン村・優生思想－厚生省・厚生技官・医療政治と差別の問題」**　場所：愛恵ビル3階（山手線駒込駅東口徒歩2分）　定員先着30人　資料代1000円　企画：ヒロシマ連続講座　申込先：qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp（竹内）

☆2月5日（土）13:30～16:30　**全国革新懇シンポジウム　市民と野党の共闘の前進をめざして**　オンライン配信YouTubeで「全国革新懇シンポジウム」と検索してください。URL https://www.youtube.com/watch?v=XmpVIW7hmmA　会場：日本青年館ホテル８階・会議室イエロー（東京都新宿区霞ヶ丘町４－１Tel03-3401-0101）　会場参加は事前登録の方のみです。コーディネーター：石川康宏さん（神戸女学院大学教授・全国革新懇代表世話人）、パネリスト：eriさん（UNITE FOR OUR FUTURE（環境アクティビスト）、小畑雅子（全国労働組合総連合議長）、志位和夫さん（日本共産党委員長）、南彰さん（新聞記者）、山口二郎さん（市民連合呼びかけ人・法政大学教授）　主催：平和・民主・革新の日本をめざす全国の会（全国革新懇）　電話：03-6447-4334　E-mail zenkoku@kakushinkon.org

☆2月5日（土）13:30～16:30　**2.5東京教育集会2022　憲法を守り生かし、子どもの学習権・生存権を保障する教育を、私たちの手に取り戻そう！**　会場：全国教育文化会館7階（JR市ヶ谷徒歩7分、地下鉄麹町駅徒歩2分）　講演：本多由紀さん（東京大学大学人教育学研究科教授）「日本の教育の特徴と課題」　リレートーク：高校生も参加する学校づくり、新学習指導要領と評価の問題、子どもの育ちと生活を支える特別支援教室を、政府が教科書の訂正を強要していいのか、「日の丸・君が代」裁判5次訴訟原告の思い、町田の学校統廃合と教育条件改善のたたかい、夜間定時制の存続を求めて、朝鮮学校問題、すすむICT教育に対して家庭から思うこと　申込み・問合せ：下記のフォームへ https://www.tokyouso.jp/2021/12/20/3744/。主催：実行委員会

☆2月5日（土）14:00～18:00　**第85回草の根歯科勉強会　アビリティーズ　障害者自立運動55年**　会場：アビリティーズ本社（新宿ミッドウエストビル）　zoom併用　要申込：電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp　講師：伊東弘泰氏（日本アビリティーズ協会会長）　URL、ID、パスコードは後日知らせます。主催：草の根歯科研究会

☆2月6日（日）10:00～11:50　**第40回神奈川県保育大学一般公開講演(Zoom)　「子どもの脳を傷つけない子育て－マルトリートメントによる脳への影響と回復へのアプローチ」**友田明美（医学博士）　定員300名　受講料1000円　締め切り1月21日　申込先：kanagawa-73hoiku@iaa.itkeeper.ne.jp　主催:実行委員会　問合せ：045-620-0492

☆2月6日（日）18:00～20:00　**第10回映画会「あの子を探して」**　会場：中原市民館第2会議室（JR武蔵小杉駅徒歩5分）　資料代500円　主催：日中友好協会川崎支部　問合せ：044-877-1266（近藤さん）

☆2月11日（日）13:30～　**第82回平和憲法を守る神奈川県民集会　「紀元節」復活」＝「建国記念の日」に反対し、今、改めて「皇民化」教育を問う**　会場：県民サポートセンター（横浜駅西口徒歩5分）　資料代500円　講師：竹村雅夫さん（藤沢市議会議員、元湘南教祖委員長）「教科書問題から考える教育の逆流の今」　主催：かながわ平和憲法を守る会　問合せ：042-797-7486（瀬川）

☆2月11日（金、休）13:30～　**歴史に学び憲法を守り生かし希望ある日本と世界へ　「建国記念の日」反対2.11集会**　会場：日本橋公会堂ホール4階（東京メトロ水天宮駅6番出口徒歩2分）　参加費700円、25歳以下300円、高校生以下無料　渡辺治さん（一橋大学名誉教授）「岸田政権下の新たな改憲策動にいかに立ち向かうか」、鈴木敏夫（子どもと教科書全国ネット21事務局長）「今、教科書で何が起こっているか」　リレートーク：コロナ禍の非正規労働者の実態と運動について、ジェンダー平等への流れと妨害勢力とのたたかい」　主催：「建国記念の日」に反対し思想・信教の自由を守る連絡会　実行委員会　連絡先：歴史教育者協議会（03-3947-5701）

☆2月11日（金、休）13:45～　**「建国記念の日」に反対する2.11神奈川県民の集い　「安倍改憲」のよみがえりをどう阻止するか**　会場：フォーラム（男女共同参画センター横浜）（戸塚駅西口徒歩5分）　資料代500円、高校生以下無料　講師：永山茂樹さん（東海大学教授、憲法学者）　オンラインでも参加可　https://youtu.be/We7FZhSOb_w（YouTubeでの視聴です）　オンライン参加の場合は、集会カンパにご協力ください。郵便振替口座 「通信欄」か「払込人欄」に「2.11集会」や「2.11」と記入してください。記号番号　00290-8-10981名称　神奈川県労働組合総連合（カナガワケンロウドウクミアイソウレンゴウ）店名（店番）〇二九（ゼロニキュウ）店（029）横浜桜木 預金種類　当座　口座番号　0109817　オンライン参加者・つどい資料：こちらからダウンロードしてください https://onl.tw/WhUv83x　オンライン参加者・アンケート】ご協力ください（Googleフォーム）https://onl.tw/xpb8187 主催：実行委員会　連絡先：神奈川労連（担当・住谷）045-212-5855

☆2月11日（金、休）19:15～20:30　**日本共産党・鎌倉サポーターズ新春のつどい**　会場：鎌倉芸術館小ホール（大船駅東口・笠間口徒歩10分）　参加チケット999円　講演Ⅰ：武本匡弘さん（プロダイバー・環境活動家）「気候変動、気候危機、気候正義」、講演Ⅱ：小林節さん（慶應大学名誉教授）「今、野党共闘の意義」、浅賀由香さん（参議院神奈川選挙区予定候補）「今度こそ！」　主催：日本共産党鎌倉市委員会、日本共産党鎌倉市後援会　連絡先：日本共産党鎌倉市委員会（046-745-1591）

☆2月13日（日）13:30～16:30　**憲法9条を守り、立憲主義に基づく政治を**　会場：相模原教育会館3階大会議室　資料代500円（大学生以下無料）　主催：「戦争いやだ、9条まもれ！」相模原連絡会

☆2月14日（月）13:30～15:30 学習会Zoom併用　**食卓に忍び寄るゲノム編集食品　いったいどんなもの？本当に安全？**　講師：天笠啓祐（ジャーナリスト、市民バイオテクノロジー情報室）　会場：ミューザ川崎シンフォニーホール研修室1-3（JR川崎駅徒歩3分、京急川崎駅徒歩8分）　当日参加費500円（コロナ感染防止にご協力ください）　Zoom参加費500円　主催：people21　https://people21lshe.wixsite.com/people　連絡先：神野玲子携帯090－2669－0413 Zoom参加方法: 事前予約必須（予約受付は2月13 日まで）　予約方法：予約はセミナー名「食卓に忍び寄るゲノム編集食品」（必須）、名前（必須）、連絡先（E-mail 必須）を明記の上、右記E-mail 先へ申込みください。E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp　神野玲子　または申し込みフォームより申込みください。https://forms.gle/FicrPkudSrmwTtr28　参加費500円を事前に2月13 日まで振込みください。郵便局からの送金の場合：口座番号10290-70860881 他行からの送金の場合：ゆうちょ銀行028 店（セロニハチ）普通7086088 口座名義神野玲子　当日案内：振り込み確認後、案内およびZoom URLを2月13 日頃メールにて送ります。

☆2 月 15 日（火）14:00～15:00　**JSA 神奈川支部幹事会　「日本の科学者」「支部通信」発送作業**　会場：かながわ総研会議室（横浜市中区不老町 2-8-8 不二ビル 6 階 604 号室、045-662-9839）　交通：JR 関内駅南口または地下鉄伊勢佐木長者町徒歩 5 分、旧横浜文化体育館北側　連絡先：後藤仁敏（電話・Fax：045-894-1052、携帯：090-7175-1911、E-mail:goto (at)kd5.so-net.ne.jp）

☆2月16日（水）15:30～20:00　**シンポジウム「顔写真で行動を検索できる社会をどうするかー便利ならプライバシーはいらない？」**　Zoomウェビナー（事前登録制）　参加無料　どなたでも参加できます。内容：１基調報告「党連合会の取組の報告（仮）」瀧田和秀（弁護士、日弁連情報問題対策委員会委員）、２基調講演「中国デジタル革命と監視社会の行方（仮）」倉澤治雄氏（科学ジャーナリスト）、３パネルディスカッション「顔認証技術は、どうルール化されるべきか」パネリスト；山本龍彦氏（慶應義塾大学大学院法務研究会教授）、若江雅子氏（読売新聞編集委員）、倉澤治雄氏（科学ジャーナリスト）　コーディネーター；武藤糾明（弁護士、日弁連情報問題対策委員会副委員長）　申込期限：2月9日　申込方法：以下のフォームから　https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/kaoninsympo/2022/　主催：日本弁護士連合会　問合せ：日弁連法制部法制第一課（03-3580-9978）

☆2月20日（日）13:00～17:00　**第34期新版『資本論』第1部講座　日曜講座全12回**　毎月1回、3月以降は第2日曜日（3月13日、4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、8月14日、9月11日、10月9日、11月13日、12月11日、23年1月8日）13時～17時　CD、DVD受講も同時募集　講師：中川弘（福島大学名誉教授）第1分冊、宮崎礼二（明海大学准教授）第2分冊、山崎圭一（横浜国立大学教授）第3分冊、萩原伸次郎（横浜国立大学名誉教授）第4分冊　会場：横浜市従会館3階会議室（JR・地下鉄桜木町駅徒歩13分）　テキスト：新日本出版　新版『資本論』第1分冊から第4分冊　受講料35000円、3男歳以下、80歳以上25000円、資本論講座再受講の方は32000円　CD、DVD受講も35000円　主催・申込み：神奈川県労働者学習協会（045-201-4002）

☆2月26日（土）**第65回神奈川県・第3回西湘 母親大会**　会場：南足柄市文化会館（大雄山駅徒歩8分）　分科会12:00～14:00 ①映画上映「道－白磁の人」（大ホール、480人）、②分科会（小ホール、70人）「くらしから考えるプラスチックごみ～未来のうみへ」助言者：五十嵐実さん、③見学分科会　㋑「自然再生エネルギーの現在と未来・小田原の場合」助言者：小山田大和さん（定員20人、マイクロバス）、㋺「南足柄の歴史と文化『大雄山最乗寺－天狗の寺に行ってみよう』定員20人、路線バス移動　全体会14:00～16:00　大ホール、600人　記念講演「食べることは生きること～ほんものの豊かな食って何だろう？」講師：枝元なほみさん（料理研究家）　運動の交流、アピール、スローガン採択など。資料代1000円（映画は別に500円）　主催：実行委員会（045-641-8815, kanahaha@hoiku-hahaoya.com）　後援：神奈川県、小田原市、南足柄市、大井町ほか

☆2月26日（土）13:30～　**中国映画を観る会　日中友好条約締結20周年記念作品　日中合作映画「チンパオ」**初めて心が触れ合った中国人は幼い兄妹だった　会場：戸塚区役所３階多目的スペース（中）（戸塚駅西口徒歩1分）　参加費500円　問合せ：080-5081-6522（大幡）

☆2月26日（土）13:30～17:00　**第55回教科書を考えるシンポジウム　18歳成年が実現するもとで高校家庭科教科書はどう変ったか**　会場：北とぴあ802会議室（王子駅徒歩5分）　オンライン併用　資料代800円　報告：齊藤弘子さん・中川千文さん（家庭科教育研究者連盟）　申込み：2月20日までに会場参加可zoomか名前と連絡先住所を記入し、次に申し込みください。子どもと教科書全国ネット21（ukyoka21@a.email.ne.jp、Fax.03-3239-8590）

☆2月27日（日）16:00～18:00　**“世界から見た日本のヒューマンライツ”　「藤田早苗さん講演会」**　会場：ピオシティ・さくらリビング6F第一研修室（市営地下鉄桜木町駅直上・JR桜木町駅5分）　資料代：1000円（学生500円）　21年3月に名古屋入管施設でスリランカ人のウッシマさんが＃殺され＃ました。国連人権委員会の特別報告者は「国際人権基準に満たず」「国際法違反」であると厳しい批判の共同書簡を日本政府に送付しています。講師：藤田早苗（英国在住・英エセックス大学ヒューマンライツセンターフェロー・20年間に渡り国連人権機関の活動にも係わる）　主催：ストップ秘密保護法かながわ　連絡先：090-5822-6927；090-4933-2015

☆3月2日（水）9:30～　**第10回防衛大学校いじめ人権侵害裁判**　9時30分門前宣伝、9時50分から抽選　10時30分開廷　横浜地裁101号法廷（みなとみらい線日本大通り駅徒歩1分）　42人まで傍聴可　終了後、波止場会館で報告集会　問合せ：090-9317-4800（柴田豊勝）

☆3月5日（土）13:00～16:00　**特別集中講座「パンデミックと731部隊」加藤哲郎さん（一橋大学名誉教授）第7回講座「感染症の世界史への日本の遺産－731部隊、バイオハザード、オウム真理教、バイオテロ」**　場所：愛恵ビル3階（山手線駒込駅東口徒歩2分）　定員先着30人　資料代1000円　企画：ヒロシマ連続講座　申込先：qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp（竹内）

☆3月12日(土)15:00～16:30　**ゲノム問題検討会議Zoomセミナー「重い障害の受容と生命の選別」**　講師：松永正訓先生（小児外科医）司会：島薗進さん（上智大学グリーフケア研究所、東京大学名誉教授）　参加方法:事前予約（予約受付期間は3月9日まで）　予約方法：予約は,セミナー名「重い障害の受容と生命の選別」(必須)、名前　(必須)、連絡先（E-mail 必須）を明記の上、下記 E-mail 先へ申込みください。E-mail：jreikochan@yahoo.co.jp　神野玲子 こちらからもお申し込みできます。→https://forms.gle/YayaGFMC8TYZtxF6A　参加費：無料　当日案内：案内およびZoom URL を3月9日頃メールにてお送りいたします。主催：ゲノム問題検討会議　https://www.gnomeke06.net/　問合せ：携帯番号 090-2669-0413 神野玲子

☆3月13日（日）10:10～16:30　**子どもと教科書全国ネット21　2022年度総会**　午前：記念講演　竹信三恵子さん「コロナ禍の女性と働き方改革」（仮題）　午後：報告・討論　問合せ：子どもと教科書全国ネット21　電話03-3265-7606

☆3月17日（木）1130～　**安保法制違憲かながわ訴訟判決**　場所：横浜地裁101法廷　連絡先：かながわ安保法制違憲訴訟の会　連絡先：045-651-2431（関守麻紀子弁護士）

☆5月15日（日）13:00～15:00　**第86回草の根歯科勉強会　「日の丸・君が代」を考えよう**　会場：梨の木カフェ（水道橋駅徒歩3分、会場は10名まで）　zoom併用　要申込：電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp　講師：根津公子氏（元東京都公立学校家庭科教師）　URL、ID、パスコードは後日知らせます。主催：草の根歯科研究会

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月 10 日ごろの締め切りです。

送り先：後藤仁敏（E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax: 045-894-1052）